

## 院生 自由記入(1143件までのデータ)

行ラベル	
1	「感染拡大防止」という観点から、普段の食事や行動歴、運動の有無や体温などを事細かに管理され、オンラインミーティングでは、自宅の中も場合によっては写り込んでしまう。 そういった、通常時では共有しないようなプライバシーが共有されてしまうことにストレスを感じる。 また、こういった状況がいつまで続くかわからないというのも、精神状態を不安定にする。
2	・オンライン授業はなかなか楽しい。先生方や大学職員の方々に感謝。ただ、院生なので授業がない。もっと履修すればよかった。 ・テーマ変更を余儀なくされたこともあり、今は研究のことを考えると辛くなってしまし、就職しておけばよかったという後悔に襲われるが、どうにかプラスに考えていきたい。 ・運動不足
3	・実験系の学生にはこの期間はかなりきつい ・自分は就職や学位申請までに(若干)余裕があるが、就職活動する学生や学位申請を控える学生にはとってみれば地獄だと思う
4	・通学で軽い運動をしていたが、それがなくなり体を動かしたい時がある。 ・家にいて毎日PCにとらめっこしているので食事の量や回数が減ったと感じている。 ・オンライン飲み会が思ったよりも楽しい。
5	・母以外に相談できる人がいません。指導教員はメールが返せないくらい新型コロナ対策で忙殺、学生相談室もパンクかつ以前の担当カウンセラーの対応に傷つけられ信頼できない、もともと友達がいない、Twitterで何か書いてもフォロワーからの反応がない、母は帰宅が遅いといった具合で、週1の遠隔ゼミまでの孤立感に耐えられなくなっています。発達障害もあるのでなおコミュニケーションが難しく、苦しいです。 ・遠隔ゼミのためスマホテザリングでZoomを使っています。その他調べもので学内Wi-Fiが使えなくなり、ネット環境はスマホのみです。通信量が非常に増えたのですが、通信各社のネット授業学割対象は25歳以下。博士課程の院生は26歳以上であることが多く、対象から外されていることに納得がいきません。様々な事情で26歳以上の学生はたくさんいます。各キャリアは学生一律で通信費を支援してほしいです。
6	・毎日死と隣り合わせの状況で先が全く見えず、息苦しさをを感じるようになった(感染はしていないです) ・緊急事態宣言が明けると当方の研究室は再開される予定で、そこへ身を投じるのが怖い
7	1. サークルが全部になってしまったため心細い。 2. 大学の授業の開講の方針と各学部の実現は全く合わない。(5月6日に開講することが報告されたのに、なぜもう開講している授業がたくさんあるかわからない。) 3. 院生の不要不急の支出(特に、学部同窓会の会費)の支援や控除があったら学生さんたちに非常に助かると思う。
8	1日も早い収束を祈りながら、感染拡大を防ぐ行動を一人一人確実に行って欲しいです。
9	1年か半年くらい期間をずらしてほしいです ずっと家にいてまともに研究もできず何のための学費なのか分かりません。
10	4月からのインターンシップが延期され、就活も延期、修論の研究活動や審査日程などについて、非常に不安である。 また、気晴らしのための外出がコロナへの感染の不安に繋がり、フラストレーションが溜まっている。 人と会うことも躊躇われ、通常時より生活のメリハリがなくなって、怠けているのかそうせざるを得ないのかでもやもやしている。  色々書いてしまっ申し訳ないです、アンケート集計者様もどうかご自愛ください。
11	4月からは大学院のためにあまりアルバイトは出来ないと思い、3月中に例年以上に稼いで貯蓄しておく予定であったが、シフトが削られ、短縮営業になったため例年の3分の1以下になってしまった。社員ではないことや契約内容の都合上、有給休暇は存在せず、休業補償も出来ないと言われてしまった。フリーター向けの都からの2年間の無利子での貸付を勧められたが、2年間は丸々大学院の期間と重なるため返却出来る目処もなく、制度を利用するのにもリスクがあるため踏みとどまっている状況。4月の収入は0になってしまい、今後の再開の目処も立たないため経済面での不安がかなり大きい。 両親との関係も良好ではないため、今まで以上の支援を頼むことは難しい。親の世帯収入としては低くないため奨学金申請も過去、通らなかつたのでアルバイトでの収入がない、3月に貯蓄を作ることが出来なかつたのはとても辛い。  また、先日からオンライン授業が始まったが、これも不慣れであること意外に想像以上のストレスがあった。Zoomでのオンライン授業は視線の先が読めないが常に見られているような感覚があり、非常に疲れを感じた。授業支援システムも使いづらい上に、講師も対応で混乱していると思うが、情報の開示や修正がとても遅く見通しが立たない。 大学のプリンターが使えないため、コンビニでのコピー代が嵩むのも想定外の出費になっている。
12	I am a bit worried with my study activities because there are limitations to go to the university even though my supervisor has prepared things to make the students having no stress during this pandemic. Conferences and symposium are cancelled so the chances to meet professors and students from other universities are decreasing.
13	アウトドアのタイプなので、自粛の影響でストレスがかかっている
14	アキレス腱が痛い
15	アルバイトができないため、今後の収入が心配である。学業以外に出費ができる見込みがたらず、世間の情勢とは関係なく経済的な観点で、旅行等の楽しみができそうにない。
16	アルバイトが激減したことによる、収入の低下が心配。1年以上続けば貯金もなくなる。
17	アルバイトしないと学費を払えないにもかかわらず、アルバイトができない状態なので大変困っています。
18	アルバイトのシフトが減り、自宅にいたることが多いため、母親との口喧嘩が絶えず常にイライラしてしまう。
19	アルバイトの収入がなく、これがいつまで続くのが不安である。  研究活動を通常通り行わねばならず、実家から感染を恐れながら通学しており、非常に疲弊する。
20	アルバイトをしたいが、外出することは正しいと思えないのでできない。自宅待機だと光熱費も増え、経済面が不安。
21	アルバイト先が休業になり、収入がストップしてしまっているため、身体面・精神的なストレスは特にないが、経済的な不安が大きい
22	アルバイト先は全て閉鎖となり、奨学金だけが収入となってしまった。学費は両親に支払ってもらっているが、奨学金から毎月お金を渡していたので今後経済的に不安がある。 また、実習を多く行う課程のため、目的通りの実習が行えない状況に陥ったり、卒業が延びた場合、学費が非常に負担である。

## 院生 自由記入(1143件までのデータ)

	行ラベル
23	いっそのこと今年一年大学止まればいい。
24	いつになったら、不安が取り除かれるのか、先行きが不透明な点。 人の価値観や危機意識が測られる点で、対人関係も怖い。
25	いつまでこの生活が続くのか不透明で気になります
26	いつまでたっても始まらない、というより始められないので、1年全員休学対応にしてほしい。
27	いつまで続くのかわからないところに不安を感じます。また、収まったとしても前の生活に戻れるのか、不安に感じています。
28	おそらくGW明けも休校が続くとおもっていて、前期がほとんど休校になるため学費の減免を強く希望します。
29	オンライン授業と言われ、強制的にzoomでの授業にされているが、こちらの環境も整っておらず、機材もなく、参加などできない。 恵まれた一部だけが授業を受けることができ、他の者は意見を伝える場すら与えられず、ただ時間だけが過ぎ、もどかしいし、そのような環境におかれている者を放置して進める講師・教務課、大学組織全体へ苛立ちを感じている。
30	オンライン授業に際し、インターネットの固定回線を契約したが、様々な支出があり経済的な負担になってしまった。
31	お金がなくて不安だ
32	お金が足りない。生協パソコンの性能が悪いので、リモートワークができない。
33	お金が無い。バイトをしようにもできない。今までの貯金でなんとか生きている状況。10万円貰えたとしても足りない。院に進んだことを後悔している。一部の大学のように支援金がほしい。助けて欲しい。中退も考えている
34	このアンケートの回答がだるい
35	このまま中途半端な状況が続くと精神環境に非常に悪いので、いっそ夏まで研究中止としてゆっくり休みたい。実験が一切できないまま自宅で調べ学習をするだけではしんどい。
36	この地球はもうだめです
37	これを機に会社員の出勤が減って満員電車が少なくなればいいと思う。
38	コロナが終息しないまま2年間が過ぎたら、いつもの院生とは違う学び方になるが社会にでて大丈夫か。
39	コロナで自粛するのはいい加減にしてほしい。 大した病気でもないのに、過度な自粛は逆効果である。
40	コロナの影響で、職場(病院)が忙しく学習の時間がとれない
41	コロナの影響で研究活動が行えず卒業までに学会や論文提出が出来るか不安。また就職試験の延期も発生しており、就活の予測が全くつかないのがストレスが溜まる。
42	コロナの影響をいち早く受けた業種だと思うし、1番遅く復活する業種だと思う。想像できない部分もあるが、生き方を考えていかなくては。 学校が大変なのはもちろんわかるが、実技や施設を目的に入学しているので、それらが一切なくなりオンラインで代わりと言われるとやはり不満に思ってしまう。
43	コロナの流行により先の見えない不安感が強い。研究についても勤務先の学校も授業再開とならねば、何も進まない。研究としてまとめられるのか、卒業できるのか、とても不安である。
44	コロナよりも深刻な問題がある
45	コロナ感染症を気に増えた政治批判、建設的な議論がなされてないように見えるのがストレス
46	コロナ後の行動を考えることも大事。ただ、その前に、一人一人が行動を見直す必要がある。また、コロナ関連でさらに拡大するであろう差別は絶対に行ってはならない。
47	ずっと家にいるので院生になった実感が湧いていない
48	ずっと自宅で体がなまるので困る
49	ストレスが爆発しそうです。
50	ストレスが溜まる。不特定多数が生活する寮より安全かと思い、緊急事態宣言が出る前に兵庫県にある実家に戻った。しかし、もともと自分のことしか考えず家事もしない、ただ用意された食事を食べ、ほとんど昼寝している父が、在宅勤務になり平日も家に居るようになってしまった。そのせいで母のストレスがひどくなり、普段以上に愚痴を聞かされることになったし、私在家事をしない逆ギレしてくる回数が高くなった。そのせいで研究活動もまともにできない。邪魔されてしまう。また、今週から弟のオンライン授業が始まったが、家にはパソコンが一つしかなく、それを在宅勤務の父が使うため、必然的に弟は授業を私のパソコンで行うことになる。ますますパソコンが使えない。むしろ寮に居た方がよかったかもと思うが、寮内の情報を見ているとおそらくそのうち感染者は出るだろうし、それによって寮内閉鎖されたら結局自宅に戻るし一緒か、と思う。できるだけイヤホン等をつけて両親と関わらないようにしているが、ある程度関わらないとやはり逆ギレが起こるため、もうどうしようもない。5/7まであとちょっとだから我慢できるよう頑張る
51	ストレスはたまるが、感染拡大防止のためには必要なことであるので、より心が安定するように、経済的や単位制度の面でフォローがあれば助かります。
52	せっかく大学院に進学したのに家で1人で黙々と研究する日々は辛い。
53	せっかく大学院に進学したものの、楽しい研究生生活には言い難い、一日早いでも状況の収束を願います。
54	せっかく第一志望の院に入学できたにもかかわらず、研究室どころか図書館も利用できない。家に居続ける生活では、研究にも勉学にも集中できずストレスが溜まる(結果一度体調を崩した)。
55	テレビ電話だけでなく、人に直接会って触れたいと思う。
56	とても幸せです。
57	とにかく外出自粛が早く終わって欲しい。
58	とにかく就職活動が心配です。 インターンもいけないとなると企業の雰囲気などがわからず、ミスマッチングが増えてしまい、 企業にとっても学生にとっても負担が大きくなるんじゃないかなと思っています。 早く収束することを祈っていますが、当面この調子が続くようなので、学校を挙げて就活支援をしていただけることを切に願っています。
59	とにかく図書館と研究室を自由に出入りできるようにして欲しい 事務系の手続きを全てペーパーレス化してほしい
60	とにかく早く普通の生活が戻ってくることを祈っております。
61	とにかく留年せずに卒業したいが、長引くと留年も視野にいれなければならない。その場合所属する研究室は今年度で閉められるので最後の1年が宙ぶらりんになる恐れがある。 内定も辞退しなければならぬし、学費も余計にかかってしまう。さらにその場合、奨学金も打ち切られるため生活が困難になるためなんとしても今年度で卒業したいが、現状の拡大状況を見るとどうも未来に期待がもてず不安が募る。
62	とりえず研究室に普通にに行けるようになってほしい。

## 院生 自由記入(1143件までのデータ)

	行ラベル
63	なべて世はことも無し
64	バイトが休業中なのでお金がなく厳しい
65	バイトが全てしばらく休みにされ、両親の収入も減っているため、経済面が本当に苦しいです。
66	バイト先(塾)が普通に開校していて怖い。 シフトは無くしてもらったが、コロナが収まってからも減らされそう。 コロナが怖い。家族、親戚には元気でいて欲しい
67	ひどく墮落している。
68	ミールプランが心配。
69	みんなが辛い状況で辛いと安易に言えないことが辛い。 恋人や友人に会いたい。 家族と二人っきりでの同居でお互いがイライラしていて嫌。
70	メリハリをつけたい。何か悶々としているところがある。人と無償に話したいと思う。ずっと家にいるのはつらい。期限がある課題がないので、どうしてもだらけてしまう。
71	もともとインドア派なので自宅待機でもまったくストレスは感じていません。むしろ人と会わなくていいので精神的に楽でいいです。やりたいことが自由にできない、物が売っていない、どこでもコロナの話になってしまうことに疲弊している。
72	東大は駒場と本郷のキャンパス間移動や食堂への観光客の立ち入りも多く、感染機会が他大学より高そうなので再開されても通学したいかと言われるとわからない。
73	ルーターの無料貸し出しが学部生のみであったが、大学院生も可能な限り許可してほしい。
74	レベル3になるのが遅かった気がします。もっと早く研究活動を禁止にして欲しかったです。 実験が進まなくて困りますが、命にはかえられません。
75	わたしはこの自粛生活に、色々な意味で、いつまで耐えられるのだろうか… 緊急事態宣言が解除された瞬間に人々が一気に外に出てまた感染拡大するのが不安
76	一応Zoomでゼミに参加してはいますが、人数が多いためあまり話せず、後はずっと引きこもっているのが孤独感がつらいです
77	一国も早く就職活動がまともに出来るようになってほしい。 中止になる資格試験が多数あり、人生が狂ってしまう。
78	一人一人が感染していると自覚して行動すれば新たに感染者を出すことはなくなる。若者は重症化しないからと、中途半端な行動をしては景気悪化が長期化する。その時、困るのは自分達10代20代です。どうか自らの行動をよく考えて欲しい。
79	一人暮らしで、バイト先も臨時休業、大学も出入り禁止、サークル活動も禁止、ということで人と話す機会が少なくなりました。基本的にずっと家にいるため、息が詰まりそうになります。また、大学院ではまだ友達が少なく、かつ全授業英語講義のため、オンライン授業になった際にきちんと課題などを遂行できるか心配です。
80	飲みに行きたい。
81	飲食店でアルバイトをしていたが、新型コロナウイルスの影響で閉店になってしまう。この4月から下宿を始めたため新しい飲食店のアルバイトを見つけるも、そちらも同様の影響により新入社員にシフトを割り当てられないよう当面の間収入が大幅に減る。家賃・学費を親に負担してもらっているためこれ以上頼るのも申し訳なく、経済的不安が大きい。 また、これから始まるインターンや就職活動に対しても漠然とした不安が残る。
82	院に進学したのに何も勉強できていない状況に不安と憤りを感じている。さらに経済的な問題もあり、毎日不安である。
83	院生は授業料を払って研究活動をしており、博士課程以降も研究を続けるためには業績をつくり学振等の資金を得ていかなければならない者が多い。現状では研究活動が制限されており、もちろん自宅できる作業などはありそちらを進めているが、多くの院生は研究活動の制限により論文投稿が遅れるなどして在学期間が延長され、学費負担が長期化する不安を抱えていると思う。世間では飲食店等が取り沙汰されるが、大学院生も活動自粛の影響をもちに被る立場であることを行政側が認識し、何らかのフォローをしてくれることに期待する。
84	運動を楽しく出来るリングフィットアドベンチャーなどは重要
85	運動不足による体力低下とストレスが不安である。
86	下宿先アパートの騒音トラブルで困っている。
87	何でも新型コロナウイルスのせいにしてしまいそうになる自分や周囲との葛藤がストレスに感じる。
88	何故千葉大学はこの状況でも留学必須と云っているのか
89	家にWi-Fiがないので、学内ネットワークが使えないとなると、オンライン授業は受けられないです
90	家にいるとやる気が起きない。場面展開がないから自分で刺激を与えないと単調になり充実感が低下する。周りの状況が分からないから自分のすることに心配になり、もっと勉強した方がいいのかなと普段よりストレス気味になる。
91	家にこたつしかなく、座ってパソコンを長時間していると腰が痛い
92	家のなかにいるだけでは、やはり退屈な面もある
93	家族間と毎日顔を合わせるのでだんだんストレスがたまる。
94	暇に耐えかねている。
95	暇を持て余していますが、やる気が出ません。
96	外に出なくなると、説明できない不安が付きまとうことがわかった。
97	外出するなって言われてるのに公園だから平気みたいな考えや、気分転換に家族みんなでスーパー行くみたいな考えしてる頭おかしい人たちに鉄槌を与えて欲しい!!!
98	外出をかなり控えているので、家にいる時間が朝増え、身体にだるさを感じるが増えた。また、やる気がどんどんなくなってきている。朝起きるのも遅くなりつつあり、コロナが収まったとしても、コロナ以前の日常を取り戻すのに時間がかかると思われる。
99	外出自粛が続いていますが、なかなか気分転換することもできずストレスがたまりまます。また、授業料免除申請はコロナの影響を受けるのか不安に思っています。
100	外出自粛を言い訳に自宅で怠惰な生活をしておりませんが いざ研究室通いが解禁されてガンガン研究を進める必要がある時期になった際にモチベーションを戻して来れるか不安ではあります
101	学位留学ができるか不安

## 院 生 自 由 記 入 (1143 件 ま だ の デ ー タ )

行ラベル	
102	学会が軒並み中止してしまったので今後学振PDの受け入れ先を探すのにだいぶ支障が出るのではないかと危惧しています。また、研究は研究室でやりたいです。というのも下宿はワンルームなので仕事場と寝室が一緒というのは精神的につらいです。正直全てがストップしてやるべきことがなければ読書なりなんなり好きなことをして外出も控えるつもりですが、残念ながら業務は通常通りこなす必要があることでストレス緩和のために軽いサイクリングやウォーキングはしてしまいます。明るい時間から下宿周りをサイクリング・ウォーキングするということがしばらくなかったのが新しいお店や道路ができたりしているのが不謹慎ながらちょっと楽しかったりはします。
103	学校から受け取る情報に、確認漏れがないか心配です。また、先生方に就活の相談が出来ず、webでの面接の接続不具合などが続き、希望職種に就けるか不安です。
104	学校に合法的に行かなくて良い状況となってストレスフリーであるが、同時に再開後は蹴寄せが来ると思っている。
105	学食を利用するために1日2回は外出するが、罪悪感を覚える。どこからどこまでが不要不急にあたるのか。
106	学振特別研究員として研究に従事しているが、本年度の研究計画および科研費の遂行ができるかどうか。
107	学生生活がまともにできていない
108	学内で生協を利用するという生活の一部がなくなり悲しい。難しいかもしれないが、何らかの形でのサービスをぜひ提供してほしい。
109	学費が現状と変わらないままだと、払えるかわからないので常に経済的に不安である。研究活動を進められない、オンライン授業も院生に対する対策があまり見られず何もできない状態が続くことに恐怖を覚える。
110	学費は施設料も含まれていると思います。 学費を返金して欲しいです、そのお金で生活費に当てたいです。
111	学費を下げてください。
112	学費を減額してほしい
113	楽しい用事だけ消えてしまいストレスです。
114	活動を自粛したことによって生じる不利益やしわ寄せに対するなにかしらの対策・対応がほしい
115	基礎疾患のある親が実家に帰ってこいと言うが、帰省するとコロナを知らぬ間にうつしてしまうのではないかと不安。帰省しないと伝えてもヒステリックになって「帰省しないなら経済支援を打ち切る」と脅してくるため、つらい時がある。
116	既往症があるのでコロナに罹ったら死ぬ
117	気軽に話したり質問できる状況ではないので、研究がうまく進むか不安です。また、就職活動もうまくいか不安です。
118	休学すべきか悩んでいる。
119	教授が授業のオンライン化に対応できていないので、夏学期は全面休講、授業料返還にして欲しい。
120	緊急事態宣言を出されても外出(買い物・散歩等)している人が多く、不安を感じる。外出中に立ち止まり、大声で喋る人が多い。
121	緊急事態宣言後にまず大学への登校禁止になり、歯学部附属病院での診療も禁止になった。続いて収入の大部分を占めていたバイト先の歯科医院でも病院や老人ホームへ立ち入り禁止になり訪問歯科診療ができなくなったので、収入がゼロになった。正直なところ歯科診療はコロナ感染のリスクが高いので、自分を守ることや患者を守ることが大事なので診療中止になるのは適切だと思う一方、収入がなくなり、大学院の研究活動もストップしており不安である。緊急事態宣言解除後に徐々に通常通りに戻すのだと思うが、歯学部附属病院やバイト先歯科医院で一般的な感染予防対策以上の対策を取って安心して勤務できるような環境を約束してほしい。特に歯学部附属病院では大学院生は勉強させてもらうという立場であり、診療をしても十分な給料や保証はないので。
122	金がない。不安
123	金銭的に逼迫しているため、大学の学費の減額や政府からの現金給付など素早い対応がほしい。
124	経済的困窮やオンライン環境不足により就学・研究できなくなる大学院生・大学生が続出しないかがとても気になります。個人的には修論研究ができるか、修論が書けるのか、就職できるのか不安です。あと政府は勤が鈍く判断が遅いので、北海道の事例のように今は緊急事態宣言を出していても、経済活動優先のため1ヶ月で解除し、人々が一気に動き出した結果今以上の流行が起きて医療崩壊が起きても正直恐れています。というか十分起こり得ると思っています。
125	経済的負担が多いので、学費の返金をお願いしたい。もしくは、今年一年を学費なしの留年扱いとし、来年からM1としてはじめたい。
126	研究、就職活動ともに先行きが見えないことに対して大きな不安を抱えている。家でやれる研究活動をするべきだと分かっているが、なかなか手につかない。ストレスがたまり、体調にも影響が出てくる。それによってさらに活動ができなくなる。
127	研究に集中して取り組めないで、卒業時に必要な修士論文の単位が取得できるのか心配。学会も参加できるのか不安。
128	研究や就職活動できなくとも不安
129	研究活動ができない状況で、例年通り(なんなら大学の方針で今年度から授業料が上がっている)の額授業料を支払わなければならないのはおかしいと思います。
130	研究活動が現在行えないことについては理解ができる。しかし、それに伴ってオンライン化されたことによって授業の質が落ちている場合があるのに、授業を行ったと大学が判断・単位認定し、結果として、他世代より、質の悪い教育で卒業せざる得ない可能性があることに不安を感じる(オンライン授業の質がただ授業で使用予定の資料をアップロードするだけなど、低すぎるので最低限までは向上させてほしい。また、今までに行われたオンライン授業でオンライン化の準備が整っておらず、質が低かったものはなるべく早く再度やり直すなどの対応をしてほしい。)また、実験などのオンラインでできない学びを行なっている学生には卒業時期の延長それに伴う就職活動への配慮(例えば半年就職活動時期と入社を遅らせるなど)、さらには延期分の授業料を求めないなどの対策が取られることを望む。まとめると、コロナの影響により教育の質を下げないこと・学生が不利益を被らないを要求する。
131	研究活動が進められないことやインターンシップの取り止め等があり、就職について非常に不安に感じています。
132	研究活動や授業の規模が縮小され、満足のいく学習が出来ていないように感じる。オンライン授業も接続等の問題が多々あり思うように進まない。 大学施設の利用が強制的に禁止されているのに学費が変わらないのはどうかと思う。(とくに図書館やフィールドワーク)できることが制限されていかなりストレスを感じる。
133	研究室がブラックなので生活リズムは良くなり、ストレスも大幅に改善されたが、研究ができないと卒業もどうなるかわからないため、その点に不安を感じる
134	研究室が全く使えない状況で学費を満額取られることが少し不満。コロナの影響で減収はしていないが毎月12.8万円の奨学金から捻出しているので半額免除でもしてくれたら食費を増やしたりなどできる。 学費免除は親の年収が基準より高いのでできない。(しかし家賃、学費、生活費は全て自分で賄っている)
135	研究室で実験がしたい。
136	研究室に行かずとも修士論文が書けるのか不安。書けるのであれば行きたくない。
137	研究室に入れず実験系なので成果がなく、非常に厳しい。

## 院 生 自 由 記 入 (1143 件 ま だ の デ ー タ)

	行ラベル
138	研究室に入れないのは痛い、致し方ないのかと…
139	研究室のメンバーが経済的理由で中退や休学に追い込まれたり、健康を損ねてしまったりしないか心配しています。
140	研究室の人と相談できる環境がほしい
141	研究室の同期との初対面が叶わぬまま新学期が始まってしまい、孤独感と虚しさでいっぱいです。履修登録など新学期の手続き等に関して分からないことがある時に、気軽に質問できる同期がいてくれたらなあと思います。どんなに些細なことでも分からないことがあると大学側に問い合わせねばならないけれど、今は大学側もバタバタと忙しそうにされていて、何だか申し訳なく、質問し辛いです。
142	研究室やカフェに行かないとメリハリがつかず、モチベーションの維持が難しいことに困っている感じです。
143	研究生活に意義を見いだせていないため、ぼんやりと生きている気がしてツライ。
144	元々ほとんど外出をしない人間なので余り影響を受けないと考えていたが、実際に家から出ない生活を続けると日光を浴びなかったり、動かなかったりするせいか病気というわけではないが、調子が良くない時がある。
145	元々研究室で孤立気味だったのでこの状況ですらに孤立感が強くなっている。自分の生き方を見つめ直すには良い機会かもしれないと思っている。
146	現在、愛知県には東京ほどの感染が広がってはいないが、徐々に広がって今よりもっと慎重な行動が求められるようになったときに、社会生活が止まってしまうことで、様々な支障が出てくると思う。直接自分が心配なのは、大学院生としての研究活動ができるのかということ、何とか今のところはオンラインが学習が始まって進んではいるが、教育分野なので自宅だけの研究では十分でない。いっそのことオンライン学習を研究としてもよいが、そうなれば本来自分が研究したかったことが研究できないというもどかしさや無念さがある。そして、自分以外の人々のことを思うと、生活の手段が絶たれてしまっている人々をどのように社会全体で支えていくのか、当事者の方々も含めて、知恵を集め連帯意識を高めていく必要がある。社会全体の有機的なつながりが求められているが、自分が何をしたらよいのかと考えるにとどまり、行動ができていない。
147	現在、特に不安に思っていることは一人暮らしについてのことと、就職活動の二点である。3月下旬に所用で関西の実家に帰って以来下宿への帰宅が困難になっているため、ずっと実家にいるが、家賃を親に負担してもらっているため、下宿に帰るべきと促されている。しかしながら経済的な見通しが立たない中、一人暮らしを続けることに不安がある。就職活動に関しては、氷河期と言われるような採用数の大幅な減少によって自分が定職につけるかどうか大きな不安がある。インターンシップなども、研究活動がしっかりできない中参加するのは不安だし、そもそも内定自体に大きく影響を与えるとインターンシップ自体も開催されるか分からないのが不安だ。
148	現在多くの方々行っている、三密を避ける、うがい手洗いの徹底、マスクの着用などは実はこうした感染症のためのみならず日常的にも大切な行動であって、感染の拡大が収束した後も大切であると感じております。現在の生活が窮屈であると感じる人は多いと思いますが、住居や衣類の確保、適度な運動、最低限の食事、経済面支援などがあれば生活をすることができます。現在の生活は窮屈ではなく生活の1つの形です。言葉は難しいですが、普段多くの時間、お金を自分の好きなことに費やしている方はこれを機に大事なことに気付けるのではないかと考えており、社会的に大事な時期であると思います。
149	現状、研究もアルバイトもリモートできており、また、実家からの仕送りも滞っていないため、経済面や学業面での不安は感じていない。また、就職活動もすでに目処が立っており、報道されているような就職活動への不安も感じていない。しかし、来年以降もコロナの影響が残った場合に、将来的な収入が減少するのではないかとといった不安がある。
150	公務員試験が実施されるのか心配
151	公務員試験も延期され勉強のモチベーションを維持しなければならない中で、暗いニュースばかりで精神的な安定を確保することが難しく、夜は吐き気や不安で眠れないことから、身体のたるみが取れないなどの悪循環が生じていると感じます。自宅でできる趣味になりうる活動の紹介などの情報が貰えたら嬉しいです。
152	行き先が見えないことが不安だけれど、これから先どうなるかなんて誰もわからない。みんな同じ状況にあるのだから、自分は1人じゃないと思う。落ち込むのではなく、むしろ、今こうして与えられた時間をどう有意義に過ごせるか？を前向きに考えている。一方で、友だちの中には不安やうつ様の症状がみられる人もいて心配だ。
153	高齢者と同居しているため、私自身がウィルスを持ち込んでしまわないか、また、自分が感染してしまったら、家族はどうなるのか非常に不安。
154	国立大学の感染症対策を一律にして欲しい。
155	今のところ大きくバイト収入は減っていないが、それは有給取得によるものであって、有給を使い切ったあとは収入がない可能性が高い。不安なので、授業料を少しでもいいから減免してほしいと思っている。
156	今の状況がいつまで続くのか不安で仕方ない。
157	今は就活中心なのですが、例年先輩たちは研究と両立していて、私は研究も就活も進んでいないので非常に不安です。
158	今までに経験したことのない状況で、特に授業形態について不安を覚えることもあるが、このご時世さまざまな工夫をしてやっていかなければと思う。
159	今回の件で良くも悪くも生活に変化が生じている。悪い面にばかり注目がいくが、リモートでコミュニケーションを取れる利点など良い面も多くあると実感している。今後も長期間このような生活をするようになると思うが、悲観的に考えるのではなく前向きに生きていきたいと感じている。
160	今学期は授業は全てオンライン授業で実施することが全て決まっており、アルバイトは当分休業になり、インターンもしばらくは完全リモートワークを実施するため、当面の間家の外から出ない生活が続くそうである。家の外に出なければ感染の心配もなく、感染拡大防止に貢献できるが、いつまで自室で一人きりで過ごす生活が続くかわからず大きなストレスがたまっている。緊急事態は5/6で終息するには到底思えず、一部報道では2022年まで終息しない可能性もあるそうである。このまま大学生活が全てオンラインで実施され、図書館の利用も制限される生活が続けば、修士課程を修了することができるのかどうか大変不安である。またせっかく貯金をはたいて少くない額の奨学金を借り入れて進学したのに、研究活動が十分にできない環境では正直なところ損をしたような気分である。先行きの見えない不安でストレスがたまっている。外出自粛が多くの人の命を救うことは頭では理解してはいるが、赤の他人の命が救われたところで、私の生活や今後の人生に支障をきたしてしまうのなら、こんな生活辞めてしまいたいと強く思うようになってきた。
161	今後も収まらないと思うので、大学の在り方そのものが必要があると思うが、大学執行部をはじめとして一部の教員等、オンライン講義の部分的なところしか考えておらず根本的に考えていないのではないかと不安である。また、オンラインするにしても、機材や環境がない人への配慮がないので、今後何かあった時も自己責任にかかるのではないかと不安に思っている。
162	今日もごはんが美味しい

## 院生 自由記入(1143件までのデータ)

	行ラベル
163	今年1年自分の研究で成果をあげて、無事今年度に大学院を卒業して来年就職できるようにしたい。
164	今年資格を受ける予定だが、集団感染のリスクもあり不安である。来年は就活であるため、今年受けられない場合、資格の日程などが気になる。
165	今年度から必須となった留学が事実上不可能となったのに、学費の値上げはおかしい。(もともと留学必須には反対の立場であるが)また、学内施設も例年通り使えないのに学費軽減がされないのもおかしい。(新たに整備するところもないのだから人件費と最低限の設備費で十分はずだ)
166	今年度の授業や研究を行うことができるのか不安に思っている。
167	在宅での活動には慣れてきて、自分なりに有意義に過ごせるようになった。しかし、現在、実験や大学院の授業はストップしており、この先の予定が分からないことが多い。これによって、就職活動や修士論文の執筆に悪影響があるのではと心配している。
168	在宅期間が長くなり研究が思うように進まなくなってきました。またアルバイトも出来なくなり収入はゼロです。日本学生支援機構の給付型奨学金は大学院生は対象外です。民間の奨学金にたびたび出していますが、募集人数が少なく、採用されるかどうか分かりません。研究も進まず、これ以上の金銭的に困難になってきたら退学若しくは休学をせざるを得ないと思っています。
169	在宅勤務ができるアルバイトの求人が増えてほしい。
170	仕方ないことであり、早期に研究が再開することと、少しでも多くの就職枠が残っていることを期待している。
171	思ったような広義を受けることができずに本当に残念と思っている。少しでも有意義な時間が過ごせるように、読書や自主学習を心がけている。あとは、家にいると誘惑(携帯や漫画など)が多いので、どうしようかと悩んでいる。
172	施設利用や印刷機の利用等ができない現状ですが、学費は同料金であるのか気になります。
173	私はたいして困っているわけではないのですが、困窮されている学生さんは多数いらっしゃいます。生協の方からもその方達へのなんらかの支援をして頂きますよう心からお願ひ申し上げます。
174	私は博士前期課程に在籍中ですが、わずか2年しかないこの貴重な期間のうち、既に一ヶ月程度、そして少なくとも今後二ヶ月程度、満身に研究やゼミ活動をできずに過ごしてしまうことへの不安があります。もちろん家で一人でもできることもあります。今はそういうことを少しずつでもするしかない、というのも分かります。しかしこの状況の中で、やや精神的に不安定になっているのでしょうか、どうも家で文献などを読んでいても内容が入ってこない日があります。現実的に、現在の研究テーマが、この状況で続けられるのか、という先行きの不透明さもあります。今年度修了の予定ですが、場合によっては休学して修了を一年延ばす可能性も出て来ました。しかしそれも経済的に簡単なことではありません。今後の進路について、改めて考えなければならぬ時期にきていると感じます。
175	私自身は経済的不安が少ない、文献での研究を主に計画している院生なのでそこまで不安はないが、今後インタビュー調査を行いたい場合それができない可能性があり不安である。 2年以内で卒業できるのかどうか。流石に今回の感染症の影響で院生活を3年に伸ばすことはできない。 また、オンライン授業の形態が先生によって様々でメールでの開講という講義もある。これは講義になるのかどうか疑問である。 図書館を含めほぼ全ての大学施設が使用できず、授業のクオリティも落ちている、また経済的不安が増えている学生が大勢いる中でこれほどと同額学費を払うのは難しいと感じているため、減額を求めたい。
176	資格試験の延期で大変不安。大学施設や生協を全く利用できないのに学費等の返金がないと納得できない。
177	資格試験の勉強をしているが、試験自体が中止になっており、資格を取る期間と就活が被りそうで不安。終息したら一番に、実家に帰りたいが、研究室の雰囲気的に許されなさそう。修士論文のデータを取ることも自分の身の安全を優先したいが、卒業できるかもすごく不安。
178	時間ができたため通常より健康的な生活が送れているが、研究活動の進捗にとっても不安がある。 また、先ほど学年を誤ってM1と記入してしまいましたが、正しくはM2です。
179	自粛生活は思いの外大変です。
180	自堕落ですがそれなりに楽しくやっています
181	自宅できつろげる状況だが、研究活動が全く出来ないため、修士論文や卒業が不安である
182	自宅での学習が、自分の弱さがあり、つい他のことに逃避してなかなか進まない。資格取得のための実習時間の確保が不安です。
183	自宅での研究は「やってるつもり感」が発生しないので頭の整理がしやすくて楽です。
184	自宅で好きに暮らせて嬉しい
185	自分が感染した場合、もしくはそれが疑われる場合、大学に連絡する必要があるのか、どこに連絡すればいいのか、大学側の発信が乏しい。
186	自分のできることは可能な限りしています。
187	実家から2時間かけて学校に通っており、アルバイトも東京でやっているため、現在収入がゼロであり、今後の生活に不安を感じております。学校に行けない現在でも学費を払い続けることに違和感を感じます。研究が進み論文が完成するかどうかもわからず、はたして卒業できるのかもわかりません。本来は博士課程に進学を希望していたのですが、将来が不安になり遅まきながら就職活動も少しずつ始めることになりました。今学生の補償が少なすぎると思うので希望が見えません。制度ができるなり、何か学生だけの補償ができればまだ安心して家での生活も頑張れるような気がします。
188	実家という恵まれた環境にいるとわかりつつ、家族仲が良いわけではないところもありなかなかしんどい環境です。同居家族も在宅になり、集中する環境をつくることに四苦八苦しています。
189	実家に帰ることもできず、バイトも減ったのでとにかくお金が足りない。
190	実験ができないことで卒業できるのか不安だ。 第一志望内定を貰っているのに修論が書けないなんて事はあってはならない。 この一年は本当に失われた空白の一年になってしまう。どうしたらいいんだ
191	授業がオンラインになったことで、生活にメリハリがなくて、イマイチ勉強に集中できない。
192	授業がオンラインになって異なるキャンパス・研究科の授業に参加しやすくなったのは嬉しい
193	授業が数個しかはじまってない。授業をオンラインやるのは時間がかかる。
194	収入が減っているのがとても心配です。また、9月から留学の予定だったので、行けるかどうか、中止になった場合今後の進路などを悩んでいます。
195	就活・単位取得の2点が最大の不安です。
196	就活のストレスがある中で息抜きも難しい現状。行きたい会社が小規模でこの経済状況の影響を受けやすいため、採用決定時期が不確定である。

## 院生 自由記入(1143件までのデータ)

	行ラベル
197	就活を除いて一年ちょっとしかない研究のための時間が減ってしまって辛い。学位取得のために十分な研究ができるか不安。通学することで起こる友人との何気ないコミュニケーションなどが大切だったのでそれが奪われてしまうのも精神的にダメージがある。
198	就活活動がここまで難しくなるとは思わなかったです。留学生のため、内定を更に取りにくいです。このままだと日本で就職できないと思います。
199	就職がうまくいっていない(内定がない)が、これがコロナウイルスによる影響なのか自身に問題があるのか見えにくく、また仮にコロナのためだとして収束後に内定をもらえるかが不安
200	就職活動がどうなってしまうのかが大きな不安な点です。
201	就職活動が全てウェブになったことで混乱し、例年よりも不安要素が多いと感じている。
202	就職活動が遅れていて今後、研究と両立できるか不安
203	就職活動が優先になりがちで研究活動をあまり進められていないのは指導教員に申し訳ないと感じている
204	就職活動において、選考の進みに遅れが出ていて落ち着かない日々が続く不安がある。それに伴って、研究活動に集中して取り組める期間が短くなる可能性があり、多少の焦りもある。
205	就職氷河期というワードを目にすることが多く、就活への不安が募る
206	修士論文を書きたいが、学校に行かないと参考に出るものや文献が見れないこと。 学びたいことがほぼ演習系の授業なのでずっとオンラインになるのではないかと不安。それならこの学校に入った意味がない。
207	出不精なので、家での生活を満喫してしまい、社会が活動再開した際に、自分も元通りの忙しい生活を送れるか不安です。。焦
208	春に、学部を卒業し、自分だけが院に進学しており、大学の同期が仕事している中、自分だけが丸1ヶ月以上休みが続いており、自分だけにもしていないことを考えてしまうことがあり、ストレスになっている
209	初めての経験なのでどうすればいいのかよくわからない
210	書類なしの口約束という形で内々定があるが、本当に確約されるか不安
211	奨学金受給者に支援がほしい。両親とは別居しており、自らのアルバイト収入だけに頼っていたので非常に苦しいが、奨学金の支援対象は両親の収入が基準となるため除外される。無条件で支援を受けられるようにしてほしい。スマートフォン以外にインターネット環境がなく、在宅でできることには限りがある。アルバイトもできないし、現在高齢の祖父母と同居しているので感染すると重篤化するリスクも高い。日々ストレスであり、学業にも支障が出ているので、金銭的補助がほしい。
212	将来が不安。楽しみがなく暇。やる気が出ない。
213	少しでも早く事態が終息することを望んでいます。
214	少し自分の研究を進みたいので、新型コロナウイルスが早く終わってほしい。
215	食事をミールプランに依存していたため急遽自炊環境を整えることになったので、栄養とコストのバランスが取れた食事を作りたいと思います。
216	新しい友達欲しいです
217	新型コロナウイルスに対しては長期的対策が必要と予想される。その場合、大学の研究室運営についても明確な基準や指針を示してほしい。(1つの部屋に入れるのは何人まで、何時間に一回5分の換気、守れない場合は大学への申請が必要、等)
218	新種の病気が個体数が減るのは自然のことで、それを生き延びてきた種が地球には多くいるのに何を今更とも思うが、不安に思うのもまた自然のことなので、そのように思う気持ちも理解できない。ただ、このようなスタンスがボロカス言われるのは全く理解できない。それより、必要以上に恐怖を煽り立てて為替の乱高下を呼んだメディア他の奴らは、変動で消えた私の400万を返してほしい(筋違い)。
219	親から仕送りを受けていると、公的に金銭的に頼れるところが非常に少ない。奨学金はスピード感が無いし受かったかわからない。
220	親の収入が影響を受けない上、自分の研究が遅れても卒業はできるため、あまり焦ってはいない アンケートに誤字が3箇所ほどあった
221	辛い。研究にやる気が出ない。学校に行くことでやる気が出るタイプだったので。終わりの見えない自粛生活が辛い。生活の情報収集のために常にスマホを見ているので目が疲れた。夜寝付けない。毎日自炊だと意外と食費がかかっている。今まで外食が多かったのでやりくりの仕方が悪いのかもしれない。でもあまりお腹がすかないので食事の量が激減した。(痩せた。)お菓子等に使いすぎなのだろうか。アパートにWi-Fiがあるが弱くてたまにズームが途切れるのがストレス。大学に申し込むものは自分の優先順位が低いと思い、申し込まなかった(自粛した)生協の出資金元取るためにたくさん食堂や本屋利用しようと思っていたのに残念。(最低限授業に必要な教科書は書籍部閉業までになんとか買いに行けた。ありがたかったです。)友達作るつもりだったのでなかなか上手いかず、辛い。
222	人と会えないので話す機会が減り鬱々とした気分になる
223	人と会えなくてさみしい
224	人と会わないこと、世間話をするのがいかにストレス解消になっていたを痛感している
225	人と議論する場がない。zoom等を使って会話は可能であるが、ちゃんと議論になっている気がしない。
226	人と喋りたい！
227	人と直接会うことができない。ネットを通じたコミュニケーションでは、つまらないことは人に話す機会がない。一人で悩みを抱え込みやすい。
228	人間関係について、新しいコミュニティをつくりたいと考えております。4月に引っ越ししてきたばかりで、友達、知人が少なく非常に孤独に感じます。 オンラインなどで会話をすることは可能ですが、初対面の人にオンラインですと、とても緊張してしまい、うまく心を開くことができません。 また、経済的にも、新たなPCなどを買わなければならない苦しい状況です。 研究や作業などは研究室にて行う予定であったため、自宅のタブレット端末には必要最低限の性能しか備わっておりません。そのため、原則登校禁止となると、新規PCを購入せざるを得なく、逼迫した状況になっております。
229	人肌が恋しい。友人と直接会えないもどかしさがあったり、出かけることによる気分転換が図れない。
230	図書館も自習室も生協も閉鎖で大学に全く行けず、オンライン授業しか享受できないのに学費を全額払うのは納得がいかない。仮に大学で試験ができず、単位認定を在宅試験やレポート評価でする場合、自宅に多数の参考書を備えておいた者勝ちになり、その財源がある人が有利になるため、それで評価されるのは納得できない。
231	生活については特にないが、本アンケートは社会人大学院生の私にはほぼ該当しない内容であったため複数回答できない項目が存在した。

## 院 生 自 由 記 入 (1143 件 ま だ の デ ー タ)

行ラベル	
232	生活リズムが崩れがちになってしまう。 インターネット環境の整備に対する経済的不安。
233	生活費や学費が払えるか不安。今後の生活、授業や研究、就職活動が不安。
234	生協のお弁当類が少なく、選ぶ物がない。
235	精神的にかなりつらく研究への集中力が継続しない。大学登校が切り替えのスイッチだったため、現在気力の切り替えができない
236	先の見えない不安の中ですが、外出を自粛すべき今だからこそ出来る体調管理に努めることができている、健康を維持できています。 しかし、学生の実験は進められないものとして学位取得の対応を考えて貰えたらありがたいです。
237	先行きが不透明ゆえにしかたのないことですが、国・自治体・大学などの対応が日々刻々と変わるため、情報収集・情報整理に常に気を配らねばならない状況にも疲弊してきています。周囲の人の連絡にもパソコンやスマートフォンを使うことが増え、新入生への対応などもオンラインでいつも以上に配慮が必要となり、心身ともに負担を感じることがあります。また、自宅での生活ではメリハリがなくなりやすく、気晴らしをしたりモチベーションを維持したりするための工夫が大切だと思ようになりました。バイト先も食品小売業と介助支援のため、すでに人手不足のなか休むこともできず、感染への不安があります。
238	先行き不安です。
239	全国的に授業料になんらかの改正が入ってほしいと考えています。 僕たちの授業料は、大学の設備や施設の利用、有識者や友人との知見の交換や交流を深めること、その全てに対して支払っているものです。 昨今のメディア授業や学内立入禁止などの状況や、アルバイトができなかったり経済的にコロナの影響を受けている学生が多い中で、授業料だけそのままのはとても冷たい対応に感じます。
240	祖父母などの親族に会えないのが不安
241	早くこの生活が終わって欲しい。ニュースで出歩いている人を見るとイライラする。自分ばかり自粛して損してのではないかとも思ってしまう。これ以上自粛しても意味ないとも思います。
242	早くコロナが収束して欲しい
243	早くコロナが落ち着くことを願っています。
244	早く外に出たい
245	早く今まで通りの生活がしたい。恋人や友人に会いたい。
246	早く治まって欲しい
247	早く収まることを祈るしかないと考えています。
248	早く収束してほしい。
249	早く日常に戻ってほしい
250	早く日常に戻りたい。
251	早く普通に大学に行きたい。
252	早く普通の生活がしたい。 お金もどんどんなくなっていく一方で気が滅入る
253	卒業の必要単位自体は取れると思うが、興味のある実践的なプロジェクト全般が行われないのではないかとショックである。
254	他の研究科より高い学費を払っているのに学内の設備や資料を使用できないのでは納得できない。
255	他大学では授業料の配慮や給付金を配るなどの決定がなされていたが、我々はどうなるのか。
256	大学のコロナウイルス感染対策の情報発信が統一したところからなされず、またマイノリティに配慮があると言えず、不安と憤りを感じ、かなりストレスになっている。
257	大学の学生相談所、保健センター(とりわけ精神科)が閉鎖されており、いざというときのメンタルサポートが全く期待できない状況にあり、非常に不安。
258	大学の施設を利用できない期間の学費は支払う必要があるのかどうか気がなる
259	大学の授業等に関するメールの連絡が多くなり、処理するのが大変だと感じる。 対面の方が情報を整理しやすいため、早く外に出られるようになると思う。
260	大学はオンライン授業だけど院はほとんど授業もないし、はっきり言って施設が使えないとほとんどゆりたいことはできないので、学費を全額取られることは納得はいかない
261	大学は来校禁止によって実験ができないため、就活に集中できているのはむしろありがたい。しかし研究がどうなるかは不安。
262	大学への登校が禁止されたことで、睡眠時間を普段より長く確保できるため嬉しい。
263	大学への入校が禁止され、バイトもシフトが無くなったため、家に居るしかなくなったことにより、精神に悪影響が出ていると感じる。
264	大学まで遠いので、リモート授業になって逆にありがたいです。
265	大学院での授業もとり終えており、残り研究に専念するだけだが、それができていないのに、授業料がかかり、困っています。 親の収入は飲食店などではないので、現在はまだ大丈夫ですが、三ヶ月後以降に響いてくると聞いています。また私自身もアルバイトでの収入が激減しこれからどうなるのが不安です。
266	大学生協のためにクラウドファンディングを行いたいと思っていますので是非前向きにご検討をいただければ幸いです。 なお、無理・無駄・ムラを省くのは大切なことですので、「大本営」のような事業連合を解体し、専務理事など多額の役員報酬を貰って現場のことを何も承知していない職員を直ちにリストラすべきであると考えます。 また、岐大生協が着手した宅送案は元々、私が出したアイデアなので、その点もお忘れなく(私は事業連合とは違って皆さんがお困りの際には、敵にも塩を送る寛大さがありますし、生協自体を嫌っている訳ではございませんので。) このアンケートは誤植が多く、項目に誘導尋問が多いので、きちんと統計学の専門家に見てもらってから作成するように勧めます(「大学」と名前が付いている組織が実施するレベルのアンケートではありません。恥ずかしいです。) 未来永劫関係無いと名指して批判された割には、友達から転送された生協アンケートに真摯に回答する、生協が「本来」の協同組合たることを切に祈念する一大学院生より。
267	大学生協は入構制限がかかっているなら営業しなくてはいいのではないのではないのでしょうか？ 逆にこんなに家に入れることに感謝して生活したいと思えます。
268	大学設部が使えないのに、学費減額されないとすると、通常通りの運営時の学生と比較して不公平であると感じる。 学費の減額を希望する。
269	長期休暇でのアルバイトを予定していたが、感染拡大を防ぐ理由で困難となった。 アルバイト先は県外にあり、大学より、緊急事態宣言を受けて以降県外へ出てしまうと2週間程度の自宅待機となると聞いた。学業に支障が出る可能性が高く、シフトを入れてもらうことができない。雇用先にも迷惑となっていて、少し困っている。

## 院生 自由記入(1143件までのデータ)

	行ラベル
270	通信量の制限なしに使える端末が一台しかなく、兄弟とリアルタイム授業の時間が被るとどちらかが授業に出られなくなるのが不安です。
271	兎に角、大学に行けない状況が続く研究が全くできないのが不安。かと言って、今大学に行くには、電車を利用したり大学に行っても同じような手段で来た学生が来ることになるのだから感染のリスクもあるので大学には行きたくない。 兎に角自粛するしかないのがやるせない。就活もまともにできなさそうで凄く不安。
272	登校禁止やオンライン授業の期間の学費を払い続けることに疑問があります。座学よりも対面での技術や人とのアンサンブルを目的に学校に通っているので、それが行われぬ、もしくはオンラインでの限界あるレッスンなどで通常通りの学費は必要ないと考えます。減額もしくは免除にしたいです。
273	東京で借りたアパートの家賃がもったいないなあ…
274	特になし。
275	特に人間関係が新しくならないことが不安です。
276	難しいと思いますが、少しでもいいから授業料返金してほしいと思います。
277	日常生活には細心の注意を働きつつも、心は穏やかに取り乱さずに過ごしたいと思います。 日毎にやる気の差が激しい。
278	家族と長い時間過ごす事に酷く苦痛を感じる。  日毎に学術研究に関する感覚が鈍ってきている。
279	入学して、研究室にも行けず、研究について、何もスタートしていないのが非常に不安です。
280	買い占めの影響で特定の食品の購入が困難になっている。
281	非常にストレスを感じる
282	部活動をしたい
283	文系院生はただでさえ厳しいと聞いているので、就職できるか不安です 法律学を研究する大学院生(D3)です。
284	今般のウイルス流行によって、生活が大きく変わってしまいました。研究室・図書館を利用できなくなったことで、研究資料へのアクセスが不自由になりましたし、自分の大切な居場所を失った喪失感から脱せられずにいます。生協書籍部が休業したことで、和書を好条件で入手できる場がなくなりましたし、洋書についていえば、諸外国での感染拡大およびこれへの対策の影響から、たいへん入手しづらくなっています。街中に目を転じれば、新刊書店も古書店も通常の営業をしておらず、展覧会も演奏会も開かれる見込みがない状況にあります。以前の生活では、これらの場で頭や心のバランスをとっていましたもので、今後いかに自己を保っていくべきか、その手立てをまだ見出せずにはいます。(もちろん、各所のスタッフの安全を考えるに、閉鎖・休業はやむを得ない措置だと理解しています。)  法律学の業界の常として、博士論文は3年では到底書き終えられませんが、もとより長期戦を覚悟していました。しかし、このような状況が今後も延々続いた場合、その「長期戦」がいったいどれほどになってしまうのか、不安を抑えられずにいます。さらに、その先のポストは、その先の就職は、と意思を巡らせるほど、不安のみが募ってしまいます。  しかしながら、だからといって毎日を無為に過ごすわけにはいかないとも思っています。人類社会はCOVID-19との闘いが終わった後も続いていく(と信じています)のですから、数十年後、百年以上後の世界のためにも、学問の営みを止めることがあってはなりません。どんなに困難な時代にあっても学究を続けて次世代へ継承してきた先人たちに倣い、この厳しい状況の中でも、未来への希望を胸に、最善を尽くしていくつもりです。
285	本当に、みんなストレスが溜まっていると感じる。 様々な要因で、ビジョンが見えないのだと思う。
286	本当は、大学でじかに先生や同じ大学院生の話を聞いて勉強したいと思ってました。 慣れないオンライン授業でどこまで対応できるか、対面して受ける授業とどう変わってくるのか心配です。 特に、まだ一度も授業を受けたことが無いので、本来の姿も分からないことが不安です。
287	毎日、単調な生活が続いており、苦痛に感じることもある
288	毎日頑張らなきゃと思うが、体が動かない。
289	蔓延が早く収まって通常の研究活動ができるような日常に戻ってほしい
290	未だ内定がなく就職先が決まるのが非常に不安です。内定がでた友達のSNSを見て焦ることしかできません。
291	無気力になっていて、閉塞感が強い。誰もが同じ状況なので、助けてと言ってもしょうがないことがさらに気持ちを下げる。
292	免許を取得したので新たに薬局でバイトをしようと思ってたバイトを辞めた途端こういう状況になったので経済的に苦しい
293	問43については、多かれ少なかれ長期的な影響が続くそうと考えている、という意味です。緊急事態みたいなことは5月か6月まで続きそうではと考えています。
294	約2週間家にいて誰とも会っていないためストレスが溜まってきている。早くどこかへ出かけて誰かと会って話したい。
295	友人と会話する機会が減って寂しい。
296	友人に会えないのはつらいですが、家族みんな健康ですし研究や事務的な作業も進められているので実質的な問題は特に感じていない状況です。
297	遊ぶ場所が営業してなくてつまらない
298	留学を希望していたが、この状況だとどうなるか見通しが全くたらず不安。
299	留学生として、もともと半年後卒業してから、日本で就職したり国帰りしたりしてどちらでもいいと思っていましたが、今の状況を見ると、順調に卒業できるのかもわかりません。経済と学業は今自宅待機中の私にとって心配していることです。
300	連休明けに学校再開とありますが、その頃に感染が終息しているとは思えず、仮に再開しても登校するのにはまだ不安感が大きい です
301	論文進まへん (空白)
	総計